

# 今日も「ー」あがり♪

第43話

現場の作業者に想いを寄せた  
モノづくりを！の巻



皆さんこんにちは！ 断酒するどころか完全なる日本酒ジャンキーと化し、行く先々で酒屋を調査しているロボストス高垣でございます。

さて、酒米の王様と呼ばれる「山田錦」は総生産量の6割が兵庫県で生産されていますが、なかでも極上の山田錦がとれる「特A地域」に認定されているエリアがあることをご存知でしょうか？ その一つが六甲山と丹波山地に囲まれた棚田が広がる加東市の旧東条町エリア。ここでとれた山田錦は、抜群にうまい酒ができる！と最高のブランドになっているんです。先日、鳥取県まで公共交通機関を避けて自動車で移動した際に、中国自動車道がちょうど横切るのので、東条でもとくに有名な秋津地区へ車を走らせました。夕暮れ時に道端で田んぼを見つめていたおじいさんを見つけたので話しかけてみたところ、なんと2008年洞爺湖サミット夕食会の乾杯酒（静岡の銘酒「磯自慢」中取り純米大吟醸35）



写真1：KUHNのパワーハロー HRB252に装着したシーダー組み付けフレーム。滑りにくいエキスパンドメタルを使って、牧草の種子を置けるようにステップも広くした

## 作業の安全性も作りやすさも！

エム・エス・ケー農業機械(株) (MSK)の西関東営業所から、KUH Nパワーハローにスモールシードドリ

の原料になった山田錦の生産者さん

でした!! 飛行機で移動していたら立ち寄れなかった場所で、素敵な出会いがありました。失うものだけでなく、コロナがきっかけで得られるものもきつとたくさんあると信じたい! ということで話は全く変わりますが、納品したばかりの出来たてホヤホヤ案件をご紹介します♪



写真2：KUHNのスモールシードドリルを組み付けて、準備OK! 発進! これで、耕起同時播種作業ができる



写真3：作業の邪魔にならず、かつ、降りる時に握りやすいように「手すりの高さ」にはこだわった。現場の農家さんからもディーラーさんからも評価していただき安心した!

の原料になった山田錦の生産者さんでした!! 飛行機で移動していたら立ち寄れなかった場所で、素敵な出会いがありました。失うものだけでなく、コロナがきっかけで得られるものもきつとたくさんあると信じたい! ということで話は全く変わりますが、納品したばかりの出来たてホヤホヤ案件をご紹介します♪



高垣達郎 (たかがき・たつろう) 1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に(株)ロボストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。(株)ロボストス代表取締役社長。

リルを組み付けるフレームの製作依頼がありました。耕起と播種を一工程で行なえるようになり、作業を大幅に効率化できるので僕も気合いが入りました。単に作業機を連結するだけなら深く考える必要はありません。でも「重量30kgの牧草種子を担ぎ、パワーハローに上って、ホッパーに投入する」という農家さんの作業全体をイメージして作らなければ決して満足してもらえないでしょう。実機でシミュレーションしてみるととても危険な作業なんです。昇降時に転げ落ちないようにMASCAR

のドリルシーダーを参考にして丸パイプで手すりを作って、泥で足が滑らないように足場にはトレイラーで使用されている滑り止め効果の高いエキスパンドメタルを採用。そして、作りやすいよう角パイプの架台構造で組み立てて、完成〜〜!!

トラクター側にも手すりを増やせばより安全な気もしますが、あとは作業性とコストとのバランスでしょうか。ひとまず農家さんからもMSKのT所長からも「安心して作業できる! 最高!」とお墨付きをいただきました。この営業所の応接室には、僕のコラムに付箋の貼られた『農業経営者』が並んでいて、そうゆうの嬉しいんですよ。ほかの営業所に異動したサービスマンとのご縁も続いています。ということでした! 原稿が書き終わったので高崎の酒屋まで「磯自慢」を買いに行ってきます(笑)。今月も一丁あがり〜〜♪